

日本伝熱学会 東海支部 主催 第27回 東海伝熱セミナー
『エネルギー有効利用のための熱工学的アプローチ』

東海支部長 渡邊激雄（中部電力）

日本伝熱学会 東海支部では毎年宿泊付の「東海伝熱セミナー」を開催しております。今年は第27回目となり、G7サミットが開催された伊勢志摩を舞台に、『エネルギー有効利用のための熱工学的アプローチ』というテーマで情報共有、議論するセミナーを企画いたしました。講師には熱工学、エネルギー分野に造詣の深い専門家をお招きし、エネルギー有効利用における熱工学の役割や最先端研究について様々な視点から話題提供していただきます。参加者の皆様とともに、楽しく討論できれば幸いです。全国から多数の方々のご参加をお待ちしております。

【日時】2016年9月16日（金）13:00～17日（土）12:00

【場所】鳥羽シーサイドホテル（三重県鳥羽市安楽島町1084）<http://www.tobaseasidehotel.co.jp/>

【参加費】一般：会員15,000円、非会員20,000円（宿泊費、意見交換会、資料代等を含む）

学生：会員8,000円、非会員10,000円（宿泊費、意見交換会、資料代等を含む）

※セミナーのみ（意見交換会を除く）参加は、一般会員：4,000円、非会員：9,000円、学生：無料

題目：『エネルギー有効利用のための熱工学的アプローチ』

【9月16日】

13:00-13:05 開会挨拶

渡邊激雄（東海支部長）

13:05-13:45 『放射波長制御技術を用いた省エネルギー乾燥』

戸谷剛（北海道大学）

13:45-14:25 『次世代自動車の熱エネルギーマネジメントに向けた廃熱駆動エアコン』

渡橋学英（トヨタ自動車）

14:25-15:05 『これからの環境エネルギーは、地域熱供給を中心とした小規模分散型（仮題）』

鮎川ゆりか（千葉商科大学）

15:05-15:20 休憩

15:20-16:00 『微細藻によるバイオ燃料生産技術～排ガスや廃棄エネルギー、排水の有効利用の可能性～』

福田裕章（デンソー）

16:00-17:00 【特別講演】

『革新的エネルギー変換技術へのパラダイムシフトの可能性 - 熱工学的視野から捉えたSOFC(電気化学)、TPV(電気電子工学)、DPF(触媒化学)に関する研究開発 - 』

花村克悟（東京工業大学）

18:00～20:00 意見交換会

【9月17日】

9:00-9:40 『先進超断熱材の研究開発動向と断熱性能評価』

大村高弘（和歌山高専）

9:40-10:20 『ジェット流発生機構を有する自然循環型冷却ループの開発研究』

鈴木彩加（パナソニックエコシステムズ）

10:20-10:35 休憩

10:35-11:15 『異常電子熱伝導度と異常格子熱伝導度を利用した革新的熱利用材料』

竹内恒博（豊田工業大学）

11:15-11:55 『電力供給におけるCO₂排出削減に関する取り組みと伝熱工学への期待』

渡邊激雄（中部電力）

【申込・問合せ】

H28年8月31日（延長しました）までに「東海伝熱セミナー参加申込」と明記の上、お名前、ご所属、ご連絡先電話番号、e-mailアドレス、会員資格（正会員・非会員・学生）、参加の別（両日参加、セミナーのみ）をご記入いただき、下記までメールでお申込みください。参加費は当日受付にて徴収します。できるだけ研究室などでまとめてお申込みいただければ幸いです。

名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻、長野方星、[e-mail: nagano@mech.nagoya-u.ac.jp](mailto:nagano@mech.nagoya-u.ac.jp)